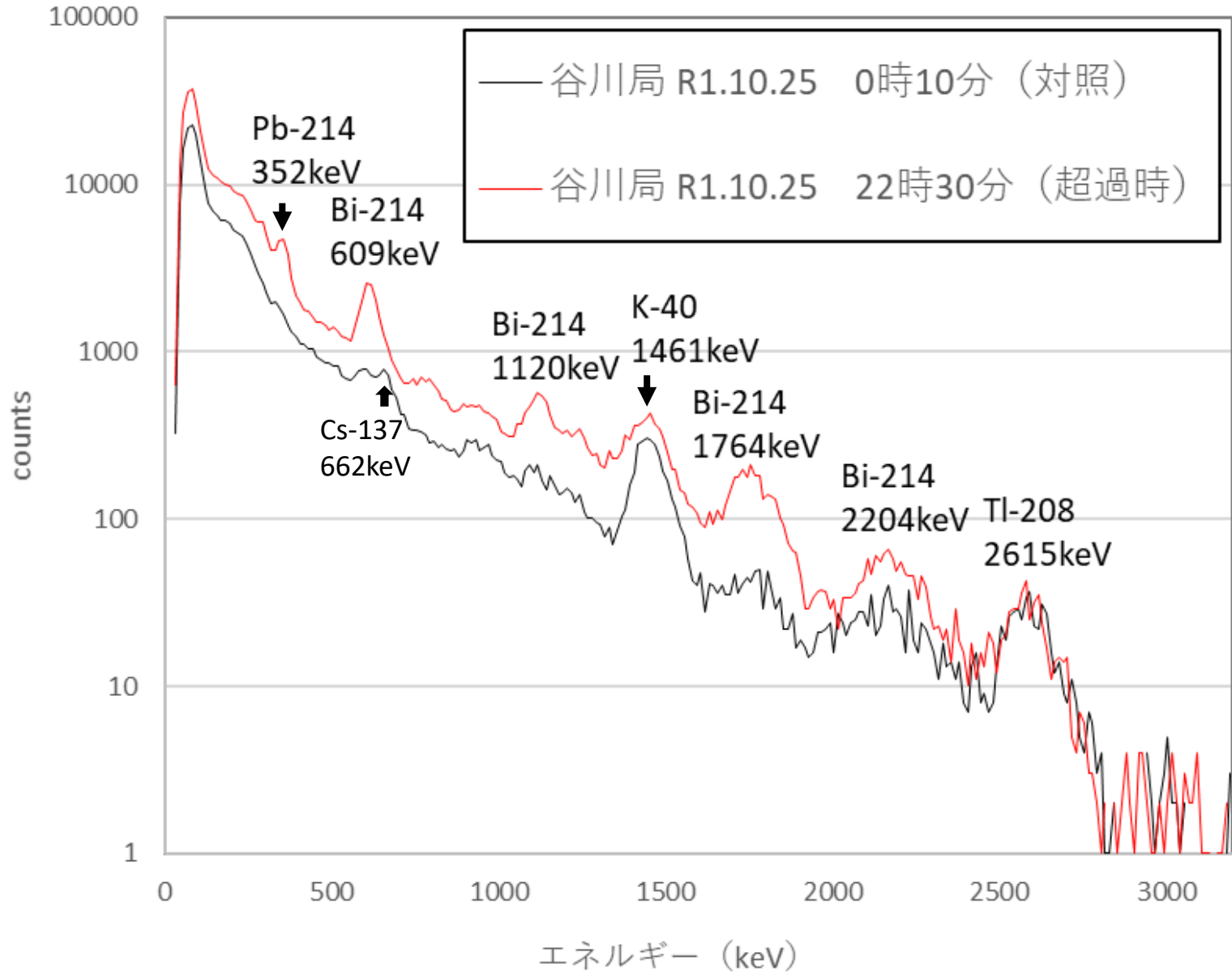


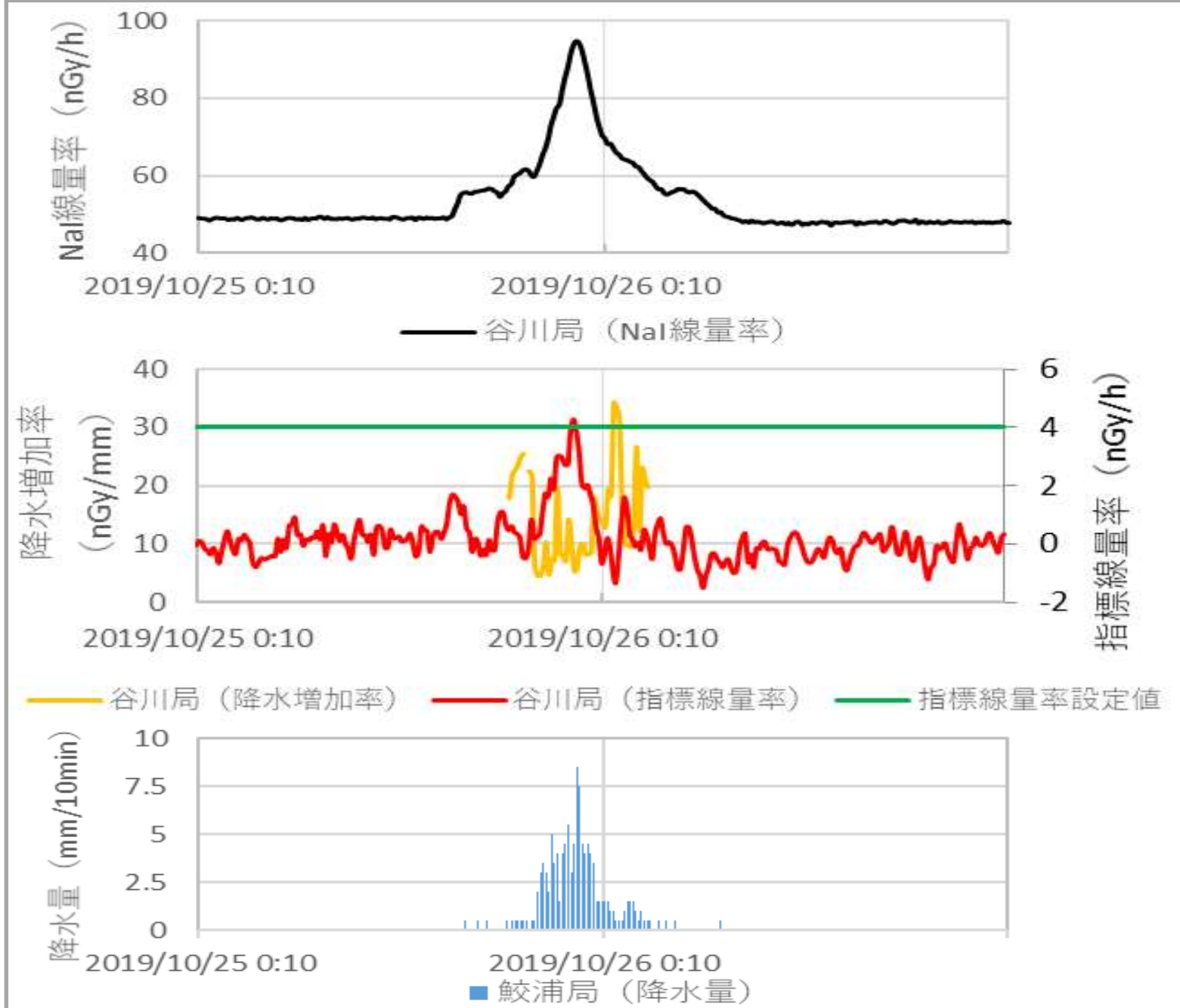
谷川局における 指標線量率設定値超過について

宮城県環境放射線監視センター

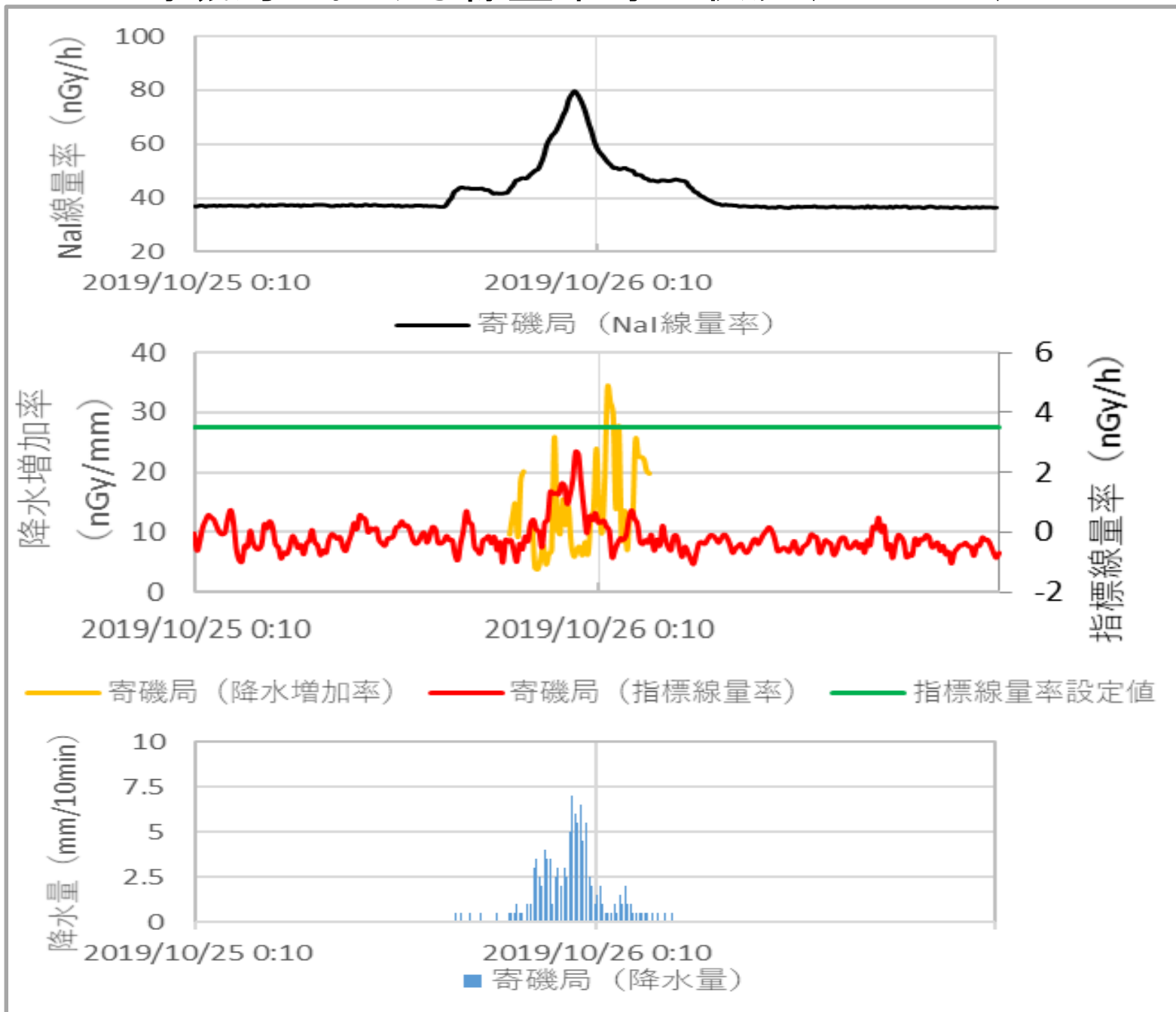
指標線量率設定値を超過した際のスペクトル



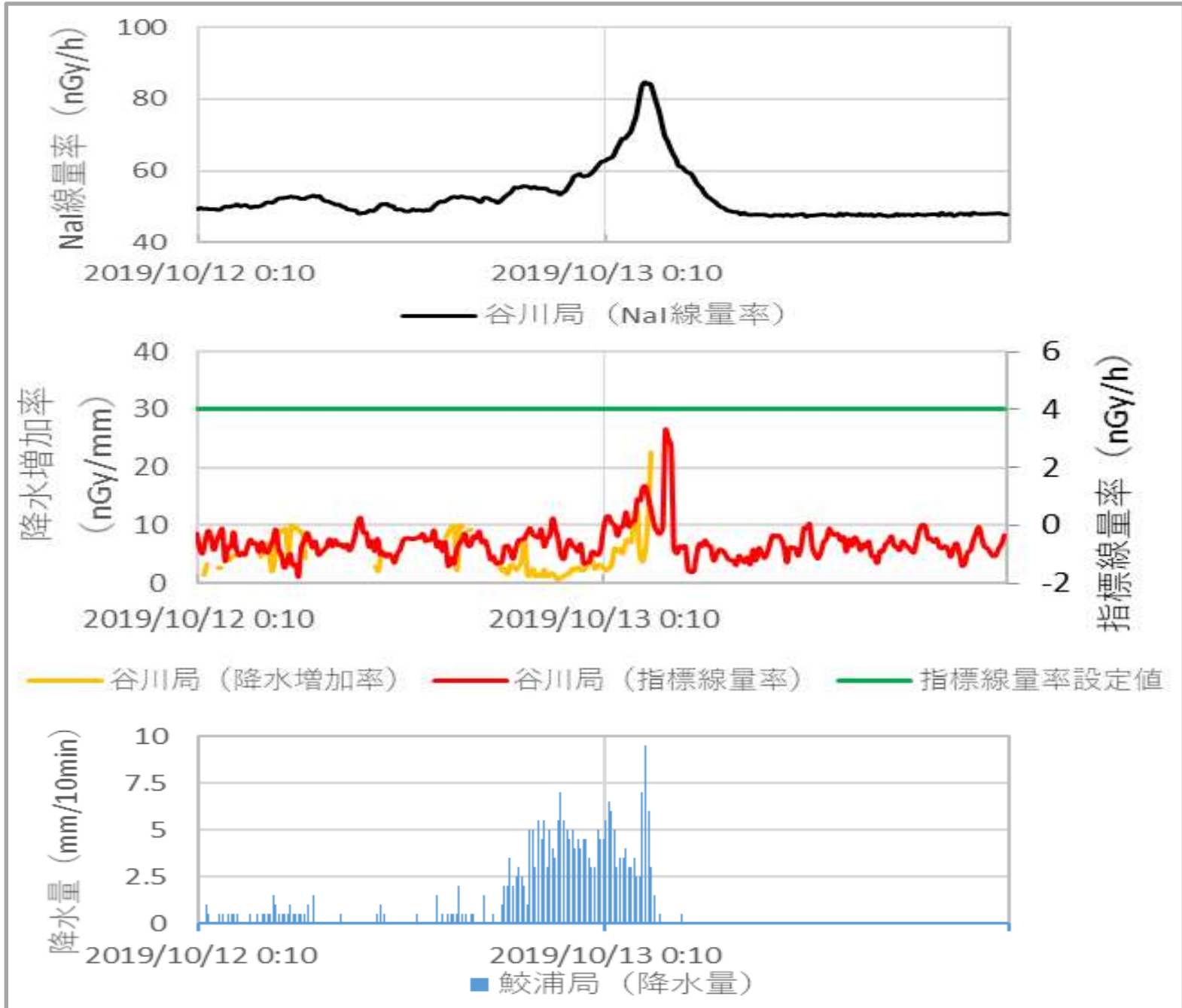
谷川局における線量率等の状況(R1.10.26)



寄磯局における線量率等の状況(R1.10.26)



谷川局における線量率等の状況(R1.10.13)



指標線量率の算出方法

エネルギー対チャンネル補正(ピークのずれを補正)
〔過去2日間の天然核種ピーク位置を用いる〕

入射スペクトルの成分分解(レスポンスマトリックス法)
〔波高分布を入射 γ 線の線束密度スペクトルに変換〕

全線束密度スペクトルから
全線量率を算出
〔RM線量率〕

U系列、Th系列、K-40
各寄与線量率の算出

バックグラウンド線量率の推定〔BG線量率〕
 $\beta_1 \cdot \text{U系列} + \beta_2 \cdot \text{Th系列} + \beta_3 \cdot \text{K-40} + \beta_4$
〔過去27日間のスペクトルを重回帰分析〕

指標線量率

全線量率
〔RM線量率〕

〔BG線量率〕

=

-